

**研究機関名：下関市立市民病院**

**研究課題名：**

急性大動脈解離の偽腔開存が、術中麻酔管理に及ぼす影響

**研究期間：**西暦 2024 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 12 月 31 日

**対象材料：**

- 病理材料（対象臓器名： ）  
 生検材料（対象臓器名： ）  
 血液材料  
 遊離細胞  
 その他（診療記録 ）

**上記材料の採取期間：** 西暦 2015 年 1 月 ～ 2024 年 12 月

**意義：**

急性大動脈解離緊急手術における適切な輸液、輸血、呼吸管理の追求

**目的：**

大動脈解離の偽腔開存型が、出血、輸血の増加リスクになると仮定し、適切な輸血準備と使用を目的とする。また人工呼吸管理期間にも影響を与えると仮定し、適切な HCU ベッド運営につなげる。

**方法：**

当院の既存データ（人工心肺、手術、麻酔記録）から、出血、輸血量、術前術中採血データを抽出し、統計学的処理を行う。

**個人情報の取り扱い：**

氏名、住所等で、患者様特定につながる情報は扱わない。

**問い合わせ・苦情等の窓口：**

〒750-8520

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 麻酔科 医長 福田 稔

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838